

氏名	國澤尚子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学、看護人間工学				
学位	博士（工学）				
学歴	1985年埼玉大学教育学部、88年東京女子医科大学看護短期大学、97年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻カウンセリングコース、2009年博士（工学）取得（千葉工業大学）				
経歴	1992東京女子医科大学看護短期大学助手、98三重県立看護大学助手、99埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授、13医療生協さいたま地域社会と健康研究所副所長兼主任研究員、19埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護技術学会（評議員）、日本人間工学会（第7期代議員、第21期関東支部委員）、看護人間工学会（評議員、総務委員）、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、福祉のまちづくり学会、産業保健人間工学会、日本健康教育学会（代議員）、日本公衆衛生学会、日本認知症ケア学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	はじめて学ぶケーススタディ第2版－書き方のキホンから発表のコツまで－ Chapter1ケーススタディを始める前に、Chapter2ケーススタディを進めるためのステップ、Chapter3ケーススタディの書き方、Chapter5ケーススタディの指導のポイント	共著	あり	総合医学社、P251	國澤尚子（編著）、新村洋未、水間夏子、畔上光代、武田美津代、高橋綾、大塚真理子、青木恭子、森田牧子、服部真理子	2020.12
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	看護基礎教育における移動技術教育での移動用具の使用に関する実態調査：学校種類別の特徴	共著	あり		看護人間工学会誌、第2巻、59-67	水戸優子、平田美和、西田直子、若村智子、富田川智志、國澤尚子
2	認知症ケアに携わる専門職を対象とした連携力強化を目指した研修プログラムの評価	共著	あり		宮城大学研究ジャーナル1巻1号、55-63	出貝裕子、大塚真理子、中込沙織、成澤健、徳永しほ、桂晶子、萩原潤、國澤尚子、丸山優、畔上光代、横道弘道、斎藤文子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	A町における認知症連携ケアリーダーの連携実践力	共同		第21回日本認知症ケア学会（Web配信）	○國澤尚子、丸山優、畔上光代、木戸宜子、出貝裕子、桂晶子、成澤健、萩原潤、中込沙織、徳永しほ、大塚真理子	2020.6～12
2	A町で実施した認知症連携ケアリーダー研修会の成果と課題	共同		第21回日本認知症ケア学会（Web配信）	○畔上光代、國澤尚子、丸山優、木戸宜子、大塚真理子	2020.6～12
3	A町の認知症連携ケアリーダーが考える認知症連携ケアの理想に対する活動の検討－実効性と実現性の視点から－	共同		第21回日本認知症ケア学会（Web配信）	○丸山優、畔上光代、國澤尚子、木戸宜子、大塚真理子	2020.6～12
4	認知症連携ケア研修前後の専門職種連携実践コンピテンシーの変化	共同		日本老年看護学会第25回学術集会（紙上開催）	○出貝裕子、大塚真理子、中込沙織、成澤健、桂晶子、萩原潤、徳永しほ、國澤尚子、丸山優、畔上光代	2020.6
5	認知症高齢者の長期療養プロセスと連携ケアを視覚化するツールの活用と効果－多機関の多職種との研修を通して－	共同		日本老年看護学会第25回学術集会（紙上開催）	○中込沙織、大塚真理子、出貝裕子、成澤健、桂晶子、徳永しほ、斎藤文子、國澤尚子、丸山優、畔上光代	2020.6
6	A町の認知症支援のためのベースライン調査(2)－IPWコンピテンシー自己評価尺度による職種の特徴－	共同		第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会（オンライン開催）	○國澤尚子、出貝裕子、桂晶子、成澤健、中込沙織、萩原潤、丸山優、畔上光代、木戸宜子、大塚真理子	2020.10

7	看護学生の基礎看護学実習中の学びの獲得に関する研究	共同	第40回日本看護科学学会学術集会（オンデマンド配信）	○中嶋真澄、徳本弘子、鈴木康美、國澤尚子、田中広美	2020.12
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）		認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究協力者	2018.4～2022.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装	研究分担者	2020.4～2023.3
3	共同研究（埼玉県立大学・ナカ工業株式会社）		在宅高齢者・障がい者の排泄を支援する住宅トイレ補助具の研究	研究代表者	2020.4～2021.3
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	IPW論	○	15	他職種の理解、チーム形成、リフレクションなどについて、体験を通して学ぶことができるように、ディスカッションには付箋アプリを使用し、事例検討、ゲストスピーカーによる講演などを取り入れた。（すべてオンラインで実施）	
2	看護学教育論（大学院）		15	中堅看護師の実践能力育成、学習目標の設定・学習計画について講義し、受講者の教育計画立案・評価・模擬講義を担当した。（すべてオンラインで実施）	
3	IPW論（大学院）		15	チーム・チームワーク、IPWの評価について講義し、学生によるIPWに関する事例発表のコメンテーターを担当した。（すべてオンラインで実施）	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護過程論	○	16	紙上事例を使用し、ヘンダーソンの理論をもとに看護過程の展開について理解できるように、講義およびグループワークを行った。（すべてオンラインで実施）	
2	看護方法Ⅰ（看護の基本技術）		16	授業計画に参加し、オンラインでの授業が円滑に進行するようにサポートし、学内演習を担当した。（演習の一部は対面、ほかはオンラインで実施）	
3	看護方法Ⅱ（日常生活援助技術A）		16	授業計画に参加し、オンラインでの授業が円滑に進行するようにサポートした。（すべてオンラインで実施）	
4	看護方法Ⅲ（日常生活援助技術B）		16	授業計画に参加し、オンラインでの授業が円滑に進行するようにサポートした。（すべてオンラインで実施）	
5	看護方法Ⅳ（診断治療の援助技術）		16	授業計画に参加し、オンラインでの授業が円滑に進行するようにサポートした。（すべてオンラインで実施）	
6	看護方法Ⅴ（実践的看護展開）		16	授業計画に参加した。（すべてオンラインで実施）	
7	看護学入門（編入生）		8	授業設計に参画し、「看護過程を学ぶ」の講義を担当した。ディベートに向けてのグループワークでは、ファシリテータを担当した。（すべてオンラインで実施）	
8	看護学特別研究（大学院）		毎週1回（年間）	ゼミに参加し、指導補助として研究指導を行った。（すべてオンラインで実施）	
9	看護学演習（看護学教育）（大学院）		15	ゼミに参加し、指導補助として文献の読み方や研究方法の指導を行った。（すべてオンラインで実施）	
(3) 実習					

実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1 総合実習		2020.7	事例作成、実習運営などに参画し、学生を担当する教員をサポートした。（臨地実習は中止、すべてオンラインで実施）	
2 ヒューマンケア体験実習		2020.9-10	ファシリテータとして2グループを担当し、ディスカッションが活発に行われるようにサポートした。（臨地実習は中止、すべてオンラインで実施）	
3 基礎看護学実習Ⅰ	○	2021.2	療養環境、挨拶、入院経験者の話とインタビュー、看護師からのメッセージ、看護師へのインタビューなどのワークを企画・運営した。（臨地実習は中止、対面とオンラインで実施）	
4 基礎看護学実習Ⅱ		2020.10	事例作成、実習運営などに参画し、グループを担当した。（臨地実習は中止、演習の一部は対面、ほかはオンラインで実施）	
(4) 論文指導				
対象	期間	主旨導・副指導の別及び指導人数		
1 卒業論文	2020.4-2020.12	主旨導	4名	副指導 名
2 修士論文	2020.4-2021.2	主旨導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員） 1名
3 博士論文		主旨導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1 -				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1 新任副看護師長研修	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）北海道東北地区・関東地区合同	ファシリテーションに関する基礎知識		2020.7
2 山梨県看護協会教育研修	山梨県看護協会	看護の現場で活かすファシリテータの役割		2020.8
3 東京都看護協会教育研修	東京都看護協会	問題解決の考え方と方法を学ぼう！		2020.9
4 認定看管理者教育課程ファーストレベル第2回	東京都看護協会	統合演習Ⅰ		2020.12
5 2020年度第3回全国キャラバン研修会	日本看護技術学会技術研究成果検討委員会・研究活動推進委員会	エビデンスに基づく移動動作の技 PartⅠ:用具を用いた移動技術の目的と方法 PartⅡ:用具を用いた移動技術の根拠・評価・普及		2020.11-12
6 2020年度IPW演習（緩和医療学）	彩の国連携力育成プロジェクト	IPW演習（緩和医療学）		2021.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1 越谷市	越谷市総合振興計画審議会委員		2010～2021	
(3) ジャーナリズムでの発言				
メディア等の名称	内容			年月
1 東武よみうり新聞	県立大学発！耳より健康情報 第43回「足は一生の相棒」			2020.12.21
(4) その他				
項目	相手方等	内容		期間
該当なし				
5. 学内運営				
項目	内容			期間
1 全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会資格審査会の委員候補者選考のための代議員会・議長			2020.4-2021.3
2 全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会			2020.4-2021.3
3 全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト			2020.4-2021.3
4 全学的委員会及びセンター業務等	IPW総合課程（オンライン）			2020.8-2020.12

5	学生支援	看護学科2年担任長	2020.4-2021.3
6	大学広報活動	iオープンキャンパス看護学科説明（オンライン）	2020.9
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		